

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・文具に関しては新商品、ヒット商品などが増え、市場は活気づいている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・今月に入り、来客数が前年同月実績を超えている。ふるさと商品券や子ども手当等により、客の買物動向が上向いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上の推移をみると前年後半は前年同月比80%台、今年の3月には同90%、前月は同93%台、今月は95%台にまで回復してきた。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新車購入補助金の非対象車にも独自の特典を設けたり、あらかじめ買得感のある特選車をアピールして、引き合いを発生させて、やっと反応が感じられるようになり成約の動きが出て来た。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新車購入補助金の期限が迫っているからか、来店客が増えている。ディーラー間での宣伝も活発である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、レストラン、宴会など各部門とも前年比増加している。
		通信会社（職員）	お客様の様子	・ボーナス商戦に向け、販促活動に対する客の反応がやや上向きになりつつある。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・地元の商工会議所が10%のプレミアム付き商品券を発行し、その券を利用する客が出てきている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・展示場の来場客数は減少に歯止めがかからない。しかし、見込み管理先との交渉件数が増えており、契約額も順調に推移している。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売棟数、販売額ともに上向いている。客の動きもある程度ある。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・商談回数及び受注数が安定かつ増加している。		
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地の販売が動き、さらに住宅を建てる動きが以前と比べ出てきている。		
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・日々の売上にムラがある。特に土日も毎週、両日売れることが難しくなっている。客数減のなか、売上を客単価でカバーしているが、専門店といえどもこれ以上の客単価のアップはかなり厳しい。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・セールが始まっているが、盛り上がりには欠ける。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・一時期上がった高額商材の動きは鈍くなってきたものの、一般客の購買意欲は徐々に高まっている。品質の確かなものを選択する傾向がある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物が動き始める時期だが、全体的にはファッション雑貨を中心に前年比90%を下回っている。客の関心は価格にあり、7月から始まるバーゲンを待ち望んでいる客は例年以上に多い。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来店客数は相変わらず前年を下回る状況が続いているが、買上客数は復調がみられる。しかし、前々年実績までは戻っていない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・平均してみると、客数、売上には変化がない。しかし、売出し日やポイントサービスの割増日などにより一層集中する傾向がみられるようになった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・購入頻度は変わらないが販売点数が伸張しておらず、消費者の生活防衛意識は変わらない。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・買上点数は前年と変わらないが、1品当たりの単価が下がっているため売上高が前年を下回る状況が続いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前月、前々月と比較し変化がない。曜日に関係なく、晴れた日にはより顕著に来客数が多く、雨の日により顕著に来客数が少なくなってきたのが最近の特徴である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・6月末からの半期に一度のサマーセールは雨もそれほど多くなく、前年並みに推移した。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・高額商品も一部売れ始めているが、依然として全体では低価格志向が強い。		

	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・経営者は現在の立ち位置が妥当であると見極めたのかもしれないと接客していて感じる。また、サラリーマンはまだ余裕がないように感じている。
	衣料品専門店（総括）	単価の動き	・どうしても単価の低い商品を求めている客が多い。
	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・前年同様同時期にダイレクトメールセールを実施したが、売上は前年をかなり下回った。しかしセール後は前年を上回る日が多く1か月を集計するとほぼ前年並みとなった。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・生活家電商品は省エネタイプが好調だが、デジタル関連商品の単価ダウンが大きい。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・テレビの販売台数は伸びているが単価下落が激しい。高付加価値商品の売れ行きが悪くなっている。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・ハイブリッドカーの受注・販売が伸びている。結果的には、業績としては前年をかなり上回っているが、7月以降は前年と同条件となる。また、10月からの新車購入補助金打ち切り以降は厳しい局面に遭遇するであろう。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・乗用車販売量は、前年同月比約2割増加しているが、これは新車購入補助金に拠るところが大きく、今月の受注高そのものは横ばいである。
	自動車備品販売店（従業員）	単価の動き	・集客面も厳しい状況は続いているが、趣向品の単価ダウンが続いている。特に主力品であるカーナビゲーションは価格下落が止まらず、ポータブル比率の向上も影響して前年からも大きく落としている状況である。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・景気回復の兆しは、酒類販売業界では全く見えない。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・例年6月は株主総会後の会食などで潤うが、今年は単価が下がるだけでなく、会食そのものの中止も数多い。景気の底打ちなどが伝えられるが、接待などの交際費は絞られたままの企業が多いと思われる。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・5、6月と客の集中する日と閑散日との格差が大きく、トータルすると前年比ダウンになっている。
	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・総売上は前年同月比103.8%、宿泊人員は同103.4%、消費単価は同101%となった。宿泊人員の増加がそのまま前年をクリアした原因である。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年は新型インフルエンザの影響などで旅行自粛があったが、今年は例年並みの販売高を確保している。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・見積依頼案件数が増加しているが、案件毎の単価（規模）が小口化しており、本格的な景気回復といえるレベルには達していない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・春の結婚式が前年よりやや少なかった一方で、県外からの営業マンが若干増えたように感じる。
	通信会社（社員）	それ以外	・関係先営業担当者との会話では、景気好転の話題がほとんど聞かれない。ただ、悪くなっているとの話もない。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・大手通信事業者では量販店によるインターネット販売を強化しているが、その比較のなかで廉価であるケーブルインターネットのコストパフォーマンスの良さが認められ、前年同月を上回る勢いで契約数が伸びている。
やや悪くなっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ギフト関連の売上が減少している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数、客単価ともに微減が続いており、そのため総販売量は低下している。また、客の財布のひもは固いようで、低価格商品がよく動いている。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・6月に入り右肩下がりになっている。特に土日が悪い訳でもなく、全体的に落ちている。子ども手当の支給が始まっているが、もらった人は生活費の足しにする人がいる一方、対象でない人は消費税の値上げを見越し儉約・節約ムードがより強くなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・6月に入りレストラン利用客が減少し、夜は閑散としている。宴会や宿泊の利用客の減少もあり売上は前年を大きく下回っている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・購入比率自体は、来客数と比較してさほど低下していないが、携帯電話端末の質よりも、価格を重視する客が目立った。

悪く なっている	競輪場（職員）	販売量の動き	・販売額が上がらず、下がり傾向となっている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・土日祝日を通して、駐車場に入庫するための買物客の車の列がほとんどみられなくなり、街は閑散としている。これまでに例を見ないような、惨たんたる状況で、全くのどん底状態である。買物客よりも店員のほうが多いという状況である。	
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・中小企業ユーザーにセールスをして、物の購入計画や建屋の新築計画がなく、また消耗品の購入も控えているようである。	
	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・耐久消費財である家具は特に慎重となっており、なかなか購買に結びつかない。バーゲンなどの販促を打てば来客数は増えるが、それ以外は逆に落ち込む。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・商店街の経営者からは客の出入りが少なくなっている、中小企業の経営者からは前年よりは良いものの7割程度の回復である、と聞いている。閑散とした日が目立ち、当店では安定はしているが、底を這っている状況である。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・節約傾向が依然強く、タクシー利用は極力最小限にとどめている。参議院選挙が始まり夜の街は閑散としている。	
	テーマパーク（職員）	単価の動き	・全体の利用人数は、前年同月比約4～5%のマイナスとなった。また、これまで客単価は前年同月実績を維持してきたが、当月は客単価が6～7ポイント低下した。特にこれまで堅調であった個人の消費単価が急激に落ち込んでおり、客の財布のひもが固くなってきたと感じている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ1～2か月の受注は、前年同月比で130%程度にまでなっている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新規の設備投資が大幅に伸びることなく微増であるものの、国内、海外とも設備投資が動き出している。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き価格は非常に厳しいが、数量ベースでは、従来品、新製品とも増加傾向にある。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・少しではあるが荷動きが良くなっている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・一部の機械製造業において、これまでの生産調整から生産フル稼働に移行していると聞いている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・前々年までの水準には達していないが、前年と比較すると足元の業況は良い。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話を見ると、不動産取引に動きが出てきたとする声と動きが鈍いとする声の両方がある。
		司法書士	取引先の様子	・個人住宅、分譲マンションに限れば取引がある。
		税理士（所長）	受注量や販売量の動き	・取引先のなかで、製造業や販売業では量的な面では前年より回復しているが、売上は円高の影響もあって、伸びていない。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スポーツ関連および自動車関連で数量面の回復があり、生産面では稼働が順調である。しかし、原料の確保難や多品種小ロット生産で工場の効率は決して良くない。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量が期待するほど伸びない。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅市場は回復がみられず、3か月前、6か月前とほとんど変わらない状況が続いている。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・原材料サプライヤー、委託加工メーカーともに、他社からの受注量は非常に厳しい状況が続いている模様であり、相変わらず回復の兆しは見えないようである。
		輸送業（配車担当）	それ以外	・昨今の気候変動の影響を受け季節感が薄れ、動くべき物流が動いていない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比較すると売上高、折込枚数ともに横ばいである。

	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・春先までは販売量が前年同月実績を超えていたが、数量自体が前年同月実績を割る状況となっている。販売価格が前年比で10%前後落ち込んでいる状況が前年より続いており、量と価格の両面にて収益を圧迫する内容である。
	悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・前月に引き続き今月も、老舗の建設会社が破産申請した。両社とも市や県の建設業協会の役員を務めていた会社であるが、公共投資抑制や受注単価の下落などで売上が減少し、事業継続を断念したものである。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格競争が依然として、し烈である。特に大手業者の低価格競争への参入が目立ってきた。
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内の5月の有効求人倍率は、3か月ぶりに前月を上回った。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の求人が前年同月と比較し増加し、新規求人数が増加した。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・ある機械メーカーは増産のため、60人規模の求人を行ったが、結果はミスマッチで10人採用に留まった。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・4月新卒者採用の関係で、社内的に落ち着き始めているためか、派遣の需要発生が極小であり、見通しも悪い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣・紹介求人とも退社社員の交代要員ばかりで増員によるものはほとんどない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は、前年同月比約8割となった。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前月に続いて求人数は減少傾向にあり、依然として厳しい状況が続いている。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が少しずつ減っている。	
悪くなっている	-	-	-	